

国際学会 ISOPE-2012

工学研究科 海洋システム工学分野 修士課程 1年
金子 孟嗣

2012年6月16日から23日までの間、ギリシャのロードス島で国際学会、ISOPE-2012に参加しました。ISOPEとは流体力学とCFD、ロボティクス・制御、再生可能エネルギーなどの様々な海洋分野における学会で52カ国の人たちがこの学会に参加しました。大阪府立大学からは、自分の他にも有馬研究室の藤内君や大塚研究室の黒田さん、柴原研究室の岩本さん、岡田さん、八木さんなど多くの学生が参加しました。

ギリシャのロードス島はギリシャの首都からは離れた島で、発表会場は世界遺産に登録されているロードスの中世都市から車で20分程度の場所にあるホテルで行われました。まずwelcome partyというものがあり、そこでISOPEに出席する方達が集まり、立食パーティの様な形で話をするというようなものでした。



次の日からいよいよ発表が始まり、藤内君が初日であったため、そのセッションに参加しました。そのセッションは海中ロボット系のセッションで、藤内君の他にアメリカ、ロシア、中国の方が発表していました。また司会の方が韓国の方でやはり国ごとに少し違った発音でしゃべっているため聞き取るのが難しいと感じました。



ISOPEでは、学生会議というものもありこれにも出席してきました。この会議では、学生同士の交流も目的ですが学生から見たISOPEに対する不満などを全員で話し合い改善していくという目的もあり、活発な議論が行われました。自分のテーブルは、カナダ人とブラジル人とナイジェリア人の方と一緒に、研究の事やそれぞれの国のことなどを話し合い有意義な時間が過ごせたと思います。



その次の日に自分の発表があり自分は流体力学のセッションでした。発表直前はとても緊張していました。発表事態は練習通りに詰まることなくできましたが、質問が来たときに聞き取ることができずうまく答えることができませんでした。今回を反省にして発表、質疑応答を改善していきたいと思います。発表後には **Banquet** があり、優秀賞の発表や、ギリシャの伝統の踊りなどを見て楽しみました。また、テーブルではドイツ人の方と一緒に交流ができました。



またせっかくギリシャまで来たので中世都市などを観光しました。しかしちょうど選挙の日であったために入場できず、外から眺めているだけでした。外から眺めるだけでも十分迫力があつたのですが、やはり中も入ってみたいかったです。昼食の時間になると日本語で客引きをしてくることもあり、陽気な人が多いと感じました。魚介類が有名らしいので昼食はマグロや、エビなどを食べました。時間が過ぎるのがとても早く充実した一週間だったと思います。



今回初めて国際学会に参加し英語で発表をし、他国の方と交流することができ自分にとってとても良い経験ができたと感じています。うまくいった部分ばかりではなかったですが改善して今後の研究に活かしていきたいと思います。

最後にこのような貴重な経験をさせていただいた深沢先生、桃木先生、現地でお世話になりました有馬先生、大塚先生、伊藤先生に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。